

平成 31 年 4 月 16 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 503 回 構造懇話会 平成 30 年度 例会のご案内

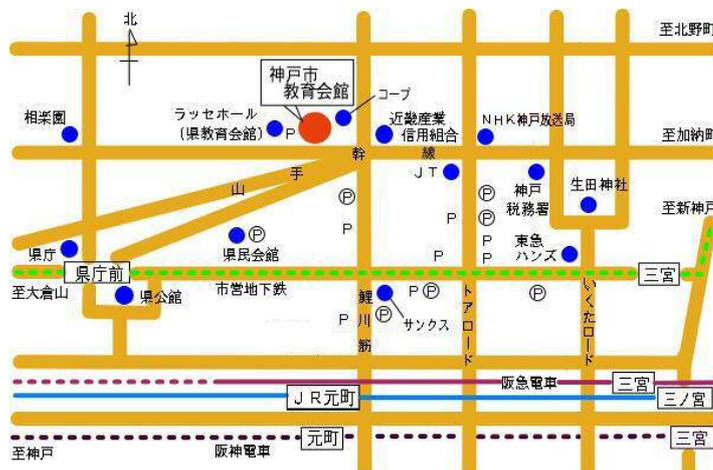
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 30 年度例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 31 年 4 月 16 日 (火) 13:30～16:35
2. 場 所 **神戸市教育会館 404 号室**
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
 - 1) 運営委員会 13:30～14:25
休憩 14:25～14:35
 - 2) 例会 ①部 14:35～15:30
『熊本地震復旧工事（木山川橋）』
株式会社横河ブリッジ 光田 浩 氏
休憩 15:30～15:40
 - 3) 例会 ②部 15:40～16:35
『危機耐性を踏まえた橋梁の耐荷力特性』
大日本コンサルタント株式会社 佐々木 達生 氏

[連絡先] 〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-18 住友中之島ビル 13 階
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 西川 啓二
TEL : 06-6479-2136 / FAX : 06-6479-0506 / e-mail : nishikawa@oriconsul.com

[例会会場 案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 503 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『熊本地震災害復旧（木山川橋）工事報告』

①報告者

株式会社横河ブリッジ 光田 浩氏

②報告内容

平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震により高架橋をはじめとする多くのインフラが被災した。中でも九州自動車道の復旧は震災復興の上で極めて重要であり、一刻も早い復旧を果たすことが求められた。本報告は、九州自動車道益城 IC～嘉島 JCT 間に位置する橋長 860m に及ぶ高架橋（木山川橋）の復旧に向けた詳細設計、施工計画、現場施工の工夫点を述べるものである。

2. 『危機耐性を踏まえた橋梁の耐荷力特性』

①報告者

大日本コンサルタント株式会社 佐々木 達生 氏

②報告内容

2018 年 9 月 4 に近畿圏に上陸した非常に強い暴風域を伴う台風 21 号に伴う関西空港連絡橋への油タンカーの衝突事故や、2016 年熊本地震で確認された地盤変位に伴う橋梁被害など、近年発生した橋梁の被害は、これまでに経験した橋梁被害からは想像もしなかった新たな被害が確認される。平成 29 年の道路橋示方書の改定に伴い、100 年の耐久性能とその前提にたった耐荷性能を考える必要があるなか、今後のインフラ設備の BCP を考えるうえで、これらの橋梁被害の発生メカニズムや上部構造の耐荷力特性の分析を経て、危機耐性に関する考察を紹介する。